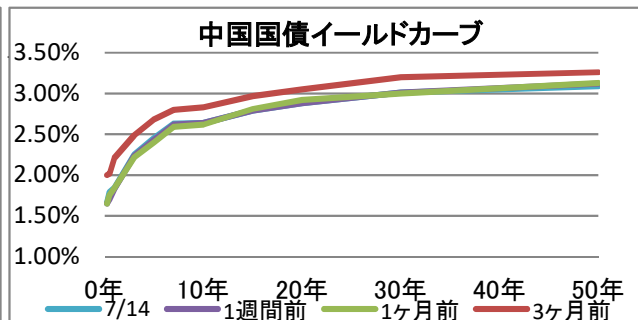
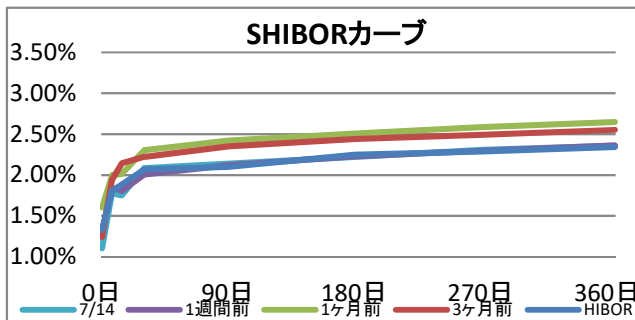


基準レート		2023/7/14	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1318	-0.0736
	JPY/CNY	5.1800	+0.1497
SHIBOR	3M	2.1010%	-0.0370%
国債利回り	10年	2.64%	+0.00%
上海総合指数		3,237.70	+41.09



(1) 概況

国際金融市場では、市場予想を下回る米物価関連指標を受けてFRBの利上げサイクル終了間近との期待が高まり、債券利回りは低下し、株価は上昇。為替市場では、FRBの金融政策見通しを背景とするドル安に加え、ECB理事会の議事録で50bpsの利上げ検討が明らかになったほか、日銀の金融政策変更への警戒感もあり、ドル安が一段と進行。

中国金融市場では、物価・貿易統計は低調な結果であったが、李強総理のプラットフォーム企業支援表明や金融当局による不動産企業支援策延長を主因に株価は上昇し、3200の大台を回復。債券利回りは、景気悪化懸念と景気刺激策への期待が拮抗し、横這い推移。為替市場では、ドル安の流れに加え、中国政府による景気刺激策への期待を背景に、ハイテク株等への資金流入等から元高に転じている。

中国では、習主席がネットワークセキュリティと情報化業務の重要性を強調し、中央全面深化改革委員会では、対外協力分野の重点領域である投資、貿易、金融、イノベーション等の開放推進により高水準開放型経済新体制を構築する方針を打ち出し、李強総理は、プラットフォーム企業との座談会で、同企業の健全で規範的な発展を推進する方針を示した。中国政府は、生成型AIサービスに関する暫定管理法を公表し、自由貿易試験区における対外プロジェクトの人民元決済業務等の金融改革を進める方針を示した。国家発展改革委員会は、民営企業から企業が直面する課題等を聴取し、大手銀行と民間投資拡大支援の連携メカニズム構築に関する協議書に署名。人民銀行等は、昨年11月に発動した不動産企業向け融資等の金融支援措置の一部を延長する方針等を公表し、貨幣政策司長が記者会見で、重点分野に対する金融支援では必要に応じ新たな政策ツールも検討すること等を言及。証券業協会の「証券会社の債券業務に関する評価法」公表を指導し、同会・方副主席は、私募投資ファンド条例制定に伴う同分野の法治化、規範化の重要性を強調。この間、外交関係では、NATO首脳会議の声明に対し、中国外務省が強く反発している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日130億元に対して、リバースオペ310億元を実施し、ネットで180億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・CPI (6月) は、前年比+0.0% (5月、同+0.2%) に低下し、前月比では5ヶ月連続の低下。天候要因から野菜が食品価格を上昇させたが、ガソリン等の交通用燃料が2桁の下落幅を更に拡大し、旅行の伸び率低下等が全体を押し下げた。
- ・PPI (6月) は、前年比-5.4% (5月、同-4.6%) と5ヶ月連続で前年を下回り、マイナス幅を更に拡大。生産財価格が国際商品市況や不動産市場等の低迷からエネルギー・素材関連価格の下落が続いたほか、消費財価格は、食品がマイナスに転じ、耐久消費財もマイナス幅を拡大させている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3320%	1.3320%	1.3500%	
1W	1.8060%	1.8400%	1.6000%	
2W	1.8860%	1.8860%	2.0600%	1.7500%
1M	2.0680%	2.2000%	2.2500%	1.9700%
3M	2.1010%	2.3500%	2.2500%	2.0800%
6M	2.2505%	2.2050%		2.2300%
9M	2.2890%			2.3000%
12M	2.3420%	3.4000%		2.3200%

月初の資金余剰の状況からやや引き締まったものの、人民銀行の資金供給拡大により安心感が広がり、ターム物の金利水準は低位で安定し、1ヶ月の2.1%台での出会いが中心となっている。

NCDの金利水準も安定しており、ターム物は、1ヶ月が1.95%前後、3ヶ月が2.0%台後半、6ヶ月が2.2%台前半、1年が2.3%台前半で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.25%	5.26%
1W	5.20%	5.40%
1M	5.60%	5.65%
3M	5.75%	5.80%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.75%	5.80%

中国国内市場では、米インフレ指標を受けて利上げサイクル終了間近との見方が増えているものの、ビッドしっかりの状況に変化はなく、ターム物は、1ヶ月が5.6%台、3ヶ月が5.7%台での取り引きが続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.66%		2.10%	2.19%	2.36%
6M	1.79%		2.21%	2.22%	2.39%
1Y	1.84%	2.04%	2.37%	2.40%	2.60%
3Y	2.25%	2.36%	2.64%	2.72%	3.36%
5Y	2.45%	2.56%	2.77%	3.02%	3.73%
10Y	2.64%	2.89%	3.03%	3.26%	4.03%

米国債券市場では、CPIの伸び鈍化による利上げサイクル終了が近いとの見方から利回りは大きく低下した。中国債券市場でも、CPIの伸び鈍化に加え、貿易統計等でも景気悪化が示唆され、GDP等の重要指標を翌週に控えて小幅な値動きに終始。この結果、米国の10年国債利回りは3.83%（前週比-23bp）に低下する一方、10年中国国債利回りは2.64%（同、±0bp）で変わらずとなったことから、利回り差は+119bp（同-23bp）へと縮小に転じている。

中国債券のイールドカーブは、5年の利回りが上昇する調整が見られたが、長期は小幅ながら利回りが低下しており、中期以降の期間がフラットニングしている。クレジットスプレッドは、信用債利回りの低下により縮小を続けている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-228.0 / -227.0
3M	-694.0 / -689.0
6M	-1370.0 / -1365.0
9M	-1931.0 / -1925.0
12M	-2405.0 / -2400.0

対ドル基準レートは7.1318と前週末比-736pipsのドル安元高、対円基準レートは5.1800と同+1497pipsの円高元安と、市場でのドル安を映じた設定となっている。中国国内市場では、ドル安の流れに加え、中国政府の景気刺激策への期待や人民銀行高官発言もあって、元の買戻しも進み、前週末の7.23台から7.13台に元高が進んで週末を迎えている。

先物は、米ドル金利上昇サイクルの終わりが意識され、直物市場で急速なドル安元高に転じたこともあり、マイナス幅は一段と縮小し、1年物は-2400台での取引が続いた。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.98%		1.59%
6M	2.01%	2.14%	1.45%
9M	2.02%	2.17%	1.46%
1Y	2.04%	2.22%	1.61%
3Y	2.26%	2.49%	1.98%
5Y	2.47%	2.76%	
7Y	2.60%	2.91%	
10Y	2.71%	3.02%	

スワップ金利は、前週同様に動意なく、概ね前週末水準での取引が続いており、債券利回りとの差であるスワップスプレッドは債券利回りの低下による小幅な拡大が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。